

平成16年度 定期作況報告

(10月20日現在)

北海道立中央農業試験場

水稻の部

水田農業科 (岩見沢市)

気象概況

9月下旬：平均気温は平年より3.9 高く、降水量は平年の81%、日照時間は平年の81%で、高温・少雨・寡照に経過した。
 10月上旬：平均気温は平年より1.1 高く、降水量は平年の16%、日照時間は平年の105%で、高温・少雨に経過した。
 10月中旬：平均気温は平年より1.3 低く、降水量は平年の30%、日照時間は平年の152%で、高温・少雨・多照に経過した。
 以上、1ヶ月を通じ平均気温は平年より2.1 高く、降水量は平年比46%、日照時間は平年比110%であり、高温・少雨に経過した。

9月下旬～10月中旬気象表

項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温()	23.7	19.7	4.0	18.8	17.1	1.7	17.1	15.2	1.9	19.9	17.3	2.5
最低気温()	14.5	10.6	3.9	8.8	8.2	0.6	6.7	6.1	0.6	10.0	8.3	1.7
平均気温()	19.1	15.2	3.9	13.8	12.7	1.1	11.9	10.6	1.3	14.9	12.8	2.1
降水量(mm)	43.5	53.6	10.1	7.0	43.6	36.6	11.0	36.1	25.1	61.5	133.3	71.8
日照時間(hr)	41.3	50.8	9.5	49.8	47.6	2.2	63.0	41.3	21.7	154.1	139.7	14.4

注) データは「アメダス岩見沢」を使用。平年値は平成6年～15年10ヶ月平均値を農試が算出し使用。
 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

作 況

水稻 作況：良

事由：m²当たり籾数は平年比「きらら397」で117%、「ほしのゆめ」で122%とかなり多く、稔実歩合、登熟歩合、千粒重ともに平年を上回った。その結果、精玄米重は平年比「きらら397」で125%、「ほしのゆめ」で121%と平年を大きく上回った。
 以上により、現在の作況は良である。

品種名	成熟期(月.日)			一穂籾数(粒)			m ² 当たり籾数(×100粒)			登熟歩合(%)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397	9.16	9.20	4	51.6	50.2	1.4	361	308	53	81.5	78.8	2.7
ほしのゆめ	9.12	9.18	6	48.9	46.6	2.3	371	303	68	88.6	82.0	6.6

品種名	精籾重(kg/a)			精玄米重(kg/a)			屑米重(kg/a)			千粒重(g)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397	80.3	64.4	15.9	62.5	50.1	12.4	3.6	3.1	0.5	23.3	22.9	0.4
ほしのゆめ	76.0	64.6	11.4	58.3	48.0	10.3	4.1	5.2	1.1	22.3	22.2	0.1

注1) 平年値は前7ヶ年中、平成10年(最豊)、15年(最凶)を除く5ヶ年平均
 注2) 平成14年より従来の泥炭土圃場から奨励品種決定調査圃場であるグライ土圃場に移した。
 注3) 耕種概要

土 壤 細粒グライ土
 施 肥 高度化成472全層施肥 N - P₂O₅ - K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a 堆肥1,500kg/10a
 播 種 量 中苗紙筒 = 180cc/箱
 栽 植 密 度 30×13.3cm 25株/m² 4本植え
 移 植 方 法 手植え
 反 復 :2

注4) 篩目は1.9mmを使用した。

畑作の部

畑作科 (長沼町)

気象概況

9月下旬：気温は、最低気温が高かったため平均気温も平年よりやや高く、降水量および日照時間はやや少なかった。

10月上旬：気温は、最高気温が高かったため平均気温も平年よりやや高かった。降水量は少なく、日照時間はほぼ平年並であった。

10月中旬：気温は平年より高く、降水量は少なかった。日照時間はやや多かった。平年より2日早い10月18日に初霜を観測した。

以上、1ヶ月を通じてみると、気温はやや高く推移し、降水量は少なく、日照時間はほぼ平年並であった。

9月下旬～10月中旬気象表

項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 ()	15.6	15.1	0.5	13.7	12.9	0.8	12.2	11.0	1.2	13.8	13.0	0.8
最高気温 ()	19.8	19.9	0.1	18.9	17.5	1.4	17.4	15.7	1.7	18.7	17.7	1.0
最低気温 ()	11.8	10.2	1.6	8.6	8.3	0.3	6.4	5.9	0.5	8.9	8.1	0.8
降水量 (mm)	29.5	54.3	24.8	5.5	42.5	37.0	3.5	32.2	28.7	38.5	129.0	90.5
降水日数 (日)	4.0	4.4	0.4	2.0	4.2	2.2	1.0	4.1	3.1	7.0	12.7	5.7
日照時間 (hr)	34.6	49.5	14.9	40.8	45.3	4.5	58.1	45.0	13.1	133.5	139.8	6.3

注1) データは「アメダス長沼」を使用。平年値は平成6年～15年の確定値を10年間農試で平均し、本年値は平成16年の速報値を用いた。

注2) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

作況

1. 秋まき小麦(平成16年播種) 作況：良

事由：出芽期が6日早く、出芽後も気温は平年並～やや高く経過したため、草丈及び茎数は平年を大きく上回った。

以上により、現在の作況は良である。

品種名	播種期(月.日)			出芽期(月.日)			草丈(cm)			茎数(本/m ²)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ホロシロコムギ	9.10	9.13	3	9.15	9.21	6	32.2	20.7	11.5	1600	857	743
ホクシン	9.10	9.13	3	9.15	9.21	6	34.0	20.7	13.3	1305	882	423

注) 平年値は前7か年中、平成9年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均(各収穫年度)。

2. 大豆 作況：良

事由：登熟は順調に進み、成熟期は平年に比べ6～7日早かった。着莢数は、中生の「ツルムスメ」が平年比127%、晩生の「ユウヅル」が平年比114%とかなり多く、一莢内粒数は平年並で、百粒重は小さかった。その結果、子実重は「ツルムスメ」が平年比123%の425kg/10a、「ユウヅル」が平年比113%の405kg/10aと多収であった。

以上により、現在の作況は良である。

品種名	成熟期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ツルムスメ	9.24	9.30	6	59.8	55.0	4.8	12.1	12.4	0.3
ユウヅル	10.09	10.16	7	80.6	76.7	3.9	15.0	15.4	0.4
トムスメ(参考)	9.20	10.01	11	63.3	60.3	3.0	10.1	10.2	0.1
スズマル(参考)	9.19	10.07	18	66.7	78.5	11.8	14.2	14.3	0.1

品種名	分枝数(本/株)			着莢数(莢/株)			一莢内粒数(粒)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ツルムスメ	6.4	6.5	0.1	66.5	52.4	14.1	1.82	1.89	0.07
ユウヅル	5.0	4.9	0.1	65.0	56.9	8.1	1.89	1.87	0.02
トムスメ(参考)	8.0	5.5	2.5	87.4	60.5	26.9	1.81	1.80	0.01
スズマル(参考)	10.9	8.7	2.2	147.9	111.9	36.0	2.48	2.26	0.22

品種名	子実重(kg/10a)				百粒重(g)		
	本年	平年	比較	平年対比(%)	本年	平年	比較
ツルムスメ	425	345	80	123	43.3	45.9	2.6
ユウヅル	405	357	48	113	42.9	43.8	0.9
トムスメ(参考)	447	382	65	117	37.5	40.2	2.7
スズマル(参考)	406	306	100	133	14.1	15.0	0.9

注) 平年値は前7か年中、平成12年(最豊)、14年(最凶)を除く5か年平均。

ただし、トムスメ、スズマルは、前3か年の平均を平年とし参考値を示す。

3. 小豆 作況：良

事由：莢数は平年比134%とかなり多く、一莢内粒数はやや少なく、百粒重は平年並であった。その結果子実重は平年比121%の327kg/10aと多収であった。成熟期前後少雨に経過したため雨害粒や腐敗粒の発生は少なく、屑粒率は低かった。

以上により、現在の作況は良である。

品種名	成熟期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節)			分枝数(本/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エリシヨウズ	9.08	9.08	0	69.0	50.4	18.6	13.9	11.8	2.1	4.5	3.2	1.3

品種名	着莢数(莢/株)			一莢内粒数(粒)			子実重(kg/10a)			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比(%)
エリシヨウズ	56.6	42.3	14.3	6.41	6.68	0.27	327	271	56	121

品種名	百粒重(g)			屑粒率(%)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エリシヨウズ	12.3	12.7	0.4	3.7	6.8	3.1

注) 平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均。

4. てんさい 作況：良

事由：9月上旬まで、平年をかなり上回る順調な生育で経過してきたが、9月8日の台風により著しい葉傷みが生じ、茎葉部が黒褐変し、二次生長する個体が目立った。このため、収穫期には葉数の増加と根周肥大がやや緩慢となり、褐斑病の蔓延もやや目立った。収穫期は10月12日で、茎葉重は6.09t/10aで平年比127%、根重は9.62t/10aで平年比122%と大きく上回った。しかし、根中糖分は15.26%で平年対比97とやや低くとどまった。この結果、糖量では1,466kg/10aで平年比118%と平年値を大きく上回った。

以上により、本年の作況は良である。

栽培法	品種名	草丈(cm)			葉数(枚)			根周(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
移植	モノホマレ	58.8	59.8	1.0	37.4	29.6	7.8	37.2	35.3	1.9

栽培法	品種名	収穫期(月日)			茎葉重(t/10a)			根重(t/10a)			
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年対比(%)
移植	モノホマレ	10.12	10.13	1	6.09	4.81	1.28	9.62	7.87	1.75	122

栽培法	品種名	根中糖分(%)				糖量(kg/10a)			
		本年	平年	比較	平年対比(%)	本年	平年	比較	平年対比(%)
移植	モノホマレ	15.26	15.74	0.48	97	1,466	1,240	226	118

注) 平年値は前7か年中、平成9年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均(各収穫年度)。

5. 中央農試作況報告について

平成13年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。当報告は、中央農業試験場のほ場において行った生育調査について、調査時点における値を中央農業試験場の平年値と比較したものであり、当該管内の作況を代表するものではありません。